

令和7年度

学力向上推進員研修会資料【小学校部会】

徳島県学カステップアップテストを 活用した学習指導について



1

令和7年4月

令和7年度 小学校第5学年 国語

- 注意
- 1 「始め」の合図があるまで、中を開かないでください。
 - 2 先生の指示があつてから、組、出席番号、名前を書いてください。
 - 3 問題は、1ページから14ページまであります。
 - 4 答えは、すべて解答紙の指示された場所にはつきりと書いてください。

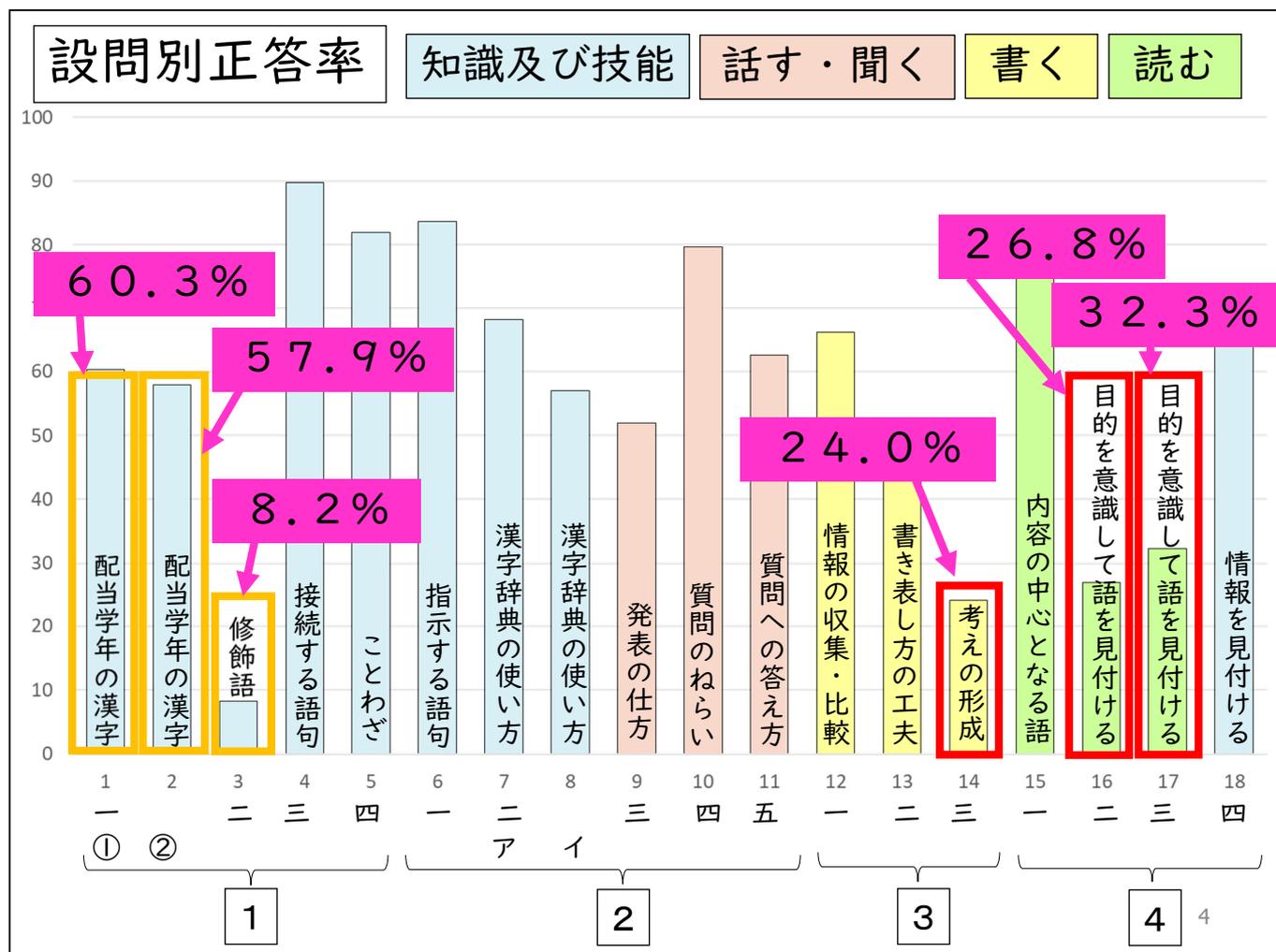
組	出席番号	名前

2

平均正答率・領域別正答率 (%)

	全体正答率	知識及び技能	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと
令和7年度 5年生	57.9 (3.1)	64.2 (1.8)	64.7 (1.2)	45.2 (3.6)	45.2 (8.1)
令和6年度 4年生	54.3 (5.4)	71.3 (1.4)	37.9 (2.8)	40.7 (7.0)	42.7 (14.1)

※ () は無解答率



成果

○知識及び技能

- ①接続する語句の役割を理解する。
- ②ことわざについて理解する。
- ③指示する語句の役割を理解する。
- ④目的を意識して、必要な情報を判断し、見付ける。

○思考力、判断力、表現力等

- ①質問をするときに、自分が聞きたいことを発言する。
- ②目的に応じて、文章の内容の中心となる語を見付ける。

課題

○知識及び技能

- ①漢字(同音異義語)を正しく使う。
- ②修飾語について理解する。

○思考力、判断力、表現力等

- ①話の構成を考え、分かりやすく伝える。
- ②相手や目的を意識し、書き表し方を工夫する。
- ③事実と考えとの関係を明確にし、書く。
- ④目的に応じて、文章から必要な言葉を見付ける。

大問 1 (知識及び技能)

一 漢字(同音異義語)を正しく使う

① 新さつが発行された。

1 自分の家の表さつをたしかめる。

2 へちまの観さつ日記を付ける。

3 兄は印さつ会社で働いている。

60.3%

② 原こうをせい書する。

1 せい式な通知がとどいた。

2 美しいせい流をながめる。

3 安せいにすごす。

57.9%

○同じ読み方をする漢字を注意して使う。
○自分の表現に使える場を設定する。

7

大問 1 (知識及び技能)

二 修飾語について理解する

「遊んでいた」を修飾する言葉をすべて

1 日曜日に 2 公園で

3 たくさんの 4 子どもが

遊んでいた。

8.2%

(令和6年度5年)
「さいている」を修飾する言葉をすべて

1 野原に 2 黄色い

3 花が 4 たくさん

さいている。

8.3%

(令和6年度4年)
「さきました」をくわしくしている言葉

1 黄色い 2 小さな

3 花が 4 たくさん

さきました。

33.2%

8

大問1 (知識及び技能)

二 修飾語について理解する

○修飾語を意識させる。
○文章の推敲指導を取り入れる。

子どもが

遊んでいた。

9

大問2 話すこと・聞くこと

三 話の構成を考え、分かりやすく伝える

田中さんのクラスでは、生活の中で、疑問に思っていることについて、調べたことを発表することになりました。

①田中

わたしは、雲について調べました。なぜ、調べたかというところ、学校から帰っているときに空を見上げると、不思議な雲があったからです。今から、三つのことについて発表します。

一つ目は、「雲のでき方」についてです。雲は、地面の近くにある空気のかたまりが上空へ上ってできます。雲は、とても小さな水や氷のつぶが集まってできているそうです。

二つ目は、「雲の種類」についてです。雲は主に形によって、十種類に分けられています。そして、それぞれの雲には、形によって、名前がつけられています。

三つ目は、「わたしが見た不思議な雲」についてです。わたしが見たのは、白くて細い線のような雲です。わたしは、それが気になりました。図かんで調べてみると、その雲は「飛行機雲」という名前でした。みなさんは、見たことがありますか。「飛行機雲」は、飛行機が通ったあとに、白いすじのようになれる雲です。飛行機のエンジンから出たはい気ガスの水じょう気が、外の冷たい空気にふれて水がつぶになります。上空に水分が多く、温度が低いときによくできるそうです。

雲について調べてみると、もっと知りたくなりました。次は、雲の動き方や季節によってできる雲のちがいについても調べてみようと思います。何かしつ問はありますか。

10

大問2 話すこと・聞くこと

三 ①田中さんの発表の仕方にあてはまるものはどれですか。

- 伝えたいことについて、
- 1 友達の考えとくらべながら話している。
 - 2 てい案をして、みんなに意見を求めている。
 - 3 図や表を見せて、わかりやすく説明をしている。
 - 4 内よりのまとまりを整理して、話している。

51.9%

11

①田中

わたしは、雲について調べました。なぜ、調べたかというと、学校から帰っているときに空を見上げると、不思議な雲があったからです。今から、三つのことについて発表します。

一つ目は、「雲のでき方」についてです。雲は、地面の近くにある空気のかたまりが上空へ上ってできます。雲は、とても小さな水や氷のつぶが集まってできているそうです。

二つ目は、「雲の種類」についてです。雲は主に形によって、十種類に分けられています。そして、それぞれの雲には、形によって、名前がつけられています。

三つ目は、「わたしが見た不思議な雲」についてです。わたしが見たのは、白くて細い線のような雲です。わたしは、それが気になりました。図かんで調べてみると、その雲は「飛行機雲」という名前でした。飛行機は、見たことがありますか。「飛行機が通ったあとに、白いすじのよう

○場面や相手を意識した発表の仕方を検討する。

○伝えたいことが聞き手に分かりやすい構成を考える。

大問2 話すこと・聞くこと

田中さんの発表は、何について発表するかが、はっきりとしていますね。

調べたことについて、最初に「三つのことについて」と言っているのもいいですね。

知らないことについても、ていねいに説明してくれているから、よくわかります。

①田中

わたしは、雲について調べました。なぜ、調べたかというと、学校から帰っているときに空を見上げると、不思議な雲があったからです。今から、三つのことについて発表します。

一つ目は、「雲のでき方」についてです。雲は、地面の近くにある空気のかたまりが上空へ上ってできます。雲は、とても小さな水や氷のつぶが集まってできているそうです。

二つ目は、「雲の種類」についてです。雲は主に形によって、十種類に分けられています。そして、それぞれの雲には、形によって、名前がつけられています。

三つ目は、「わたしが見た不思議な雲」についてです。わたしが見たのは、白くて細い線のような雲です。わたしは、それが気になりました。図かんで調べてみると、その雲は「飛行機雲」という名前でした。みなさんは、見たことがありますか。「飛行機雲」は、飛行機が通ったあとに、白いすじのように見える雲です。飛行機が通ったあとに、白いすじのようになり、外に冷たい空気がふれて水のつぶになります。上空に水分が多く、温度が低いときによくできるそうです。雲について調べてみると、もっと知りたくなりました。次は、雲の動き方や季節によってできる雲のちがいについても調べてみようと思います。何かしつ間はありますか。

○モデルを使って、構成の検討をする。見付けたよさを観点として示す。



12

大問3 書くこと

谷口さんの学級では、「学校でいちばんお気に入りの場所」についてしようかいしようか
 さんお気に入りの場所」についてしようかいしようか
 いするのために、**タブレットで考えを整理**
 し、文章を書くことにしました。

【谷口さんのメモ】

「先生のおすすめの本」について

- ・先生の心に残った場面が書かれている。
- ・自分では手に取らないような本がしよようかいされている。

「読み聞かせ」について

- ・リクエストされた本を読んでいる。
- ・学年に合わせて本を読んでいる。
- ・気持ちをこめて読んでいる。

【谷口さんの文章の下書き】

学校でいちばんお気に入りの場所

わたしが、しようかいしたいいちばんのお気に入りの場所は図書館です。

お気に入りの理由は二つあります。

一つ目は、「先生のおすすめの本」のコーナーがあることです。このコーナーでは、先生方が小学生のときに読んでいた本がしよようかいされています。「先生のおすすめの本」のよいところは、先生の心に残った場面が書かれているので、そこに注目して読み進められるところです。

二つ目の理由は、「図書委員による読み聞かせ」があることです。毎週本曜日の昼休みに、図書委員による読み聞かせが行われています。わたしは、いつも友達をさそって行くようにしています。「読み聞かせ」のよいところは、図書委員が、

7

これらの理由から、図書館は、わたしにとっていちばんのお気に入りの場所です。ぜひ、みなさんも、図書館に足を運んでみてください。

3 谷口さんの学級では、「学校でいちばんお気に入りの場所」についてしようかいしようかのために、タブレットで考えを整理し、文章を書くことにしました。「谷口さんのメモ」、「谷口さんの文章の下書き」を読んで、あとの問いに答えましょう。

【谷口さんのタブレットの画面】

学校でいちばんお気に入りの場所をしようかいしよう

教室

- 長い時間過ごす。
- 友達がいる。
- 休み時間に、話したり遊んだりできる。

中庭

- 池がある。
- 季節ごとにきれいな花がさく。
- ベンチがある。

学校の
お気に入りの場所

図書館

- 本を集中して読める。
- 先生のおすすめの本がしよようかいされている。
- 図書委員による読み聞かせがある。

運動場

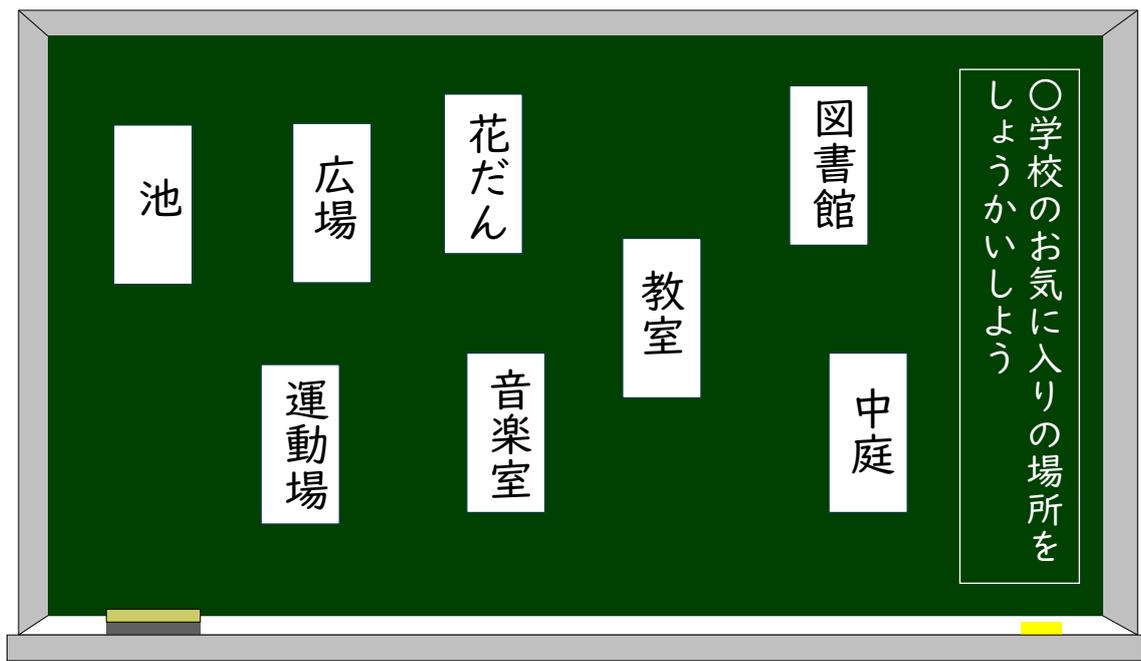
- 鉄ぼうの練習ができる。
- 走ったりとんだりして、体を動かせる。
- 他の学年の子といっしょに遊べる。

1 谷口さんは、文章を書くことを決めるために、「谷口さんのメモ」で「谷口さん」の考えを整理し、文章の下書きを書いた。その整理した考えを、次のようにわしもの、次の1から4までの中から一つ選びましょう。

- 1 よい点と問題点を分け、内よようを整理している。
- 2 書きやすい順番を考えた、内よようを整理している。
- 3 中央の言葉からだんないで、分けて「考えをつなぐ」している。
- 4 自分が知りたいことを中心に書き「考えをつなぐ」している。

ICTの活用

大問3 書くこと



一 谷口さんは、文章に書くことを決めるために、タブレットでどのように考えを整理したか。

大問3 書くこと

○情報を整理することで、伝えたいことが明確になることを児童が実感できるようにする。

学校でいちばんお気に入りの場所を
しょうかいしよう

○長い時間すごす。
○友達がいる。
○休み時間に、話したり遊んだりできる。

○池がある。
○季節ごとにきれいな花がさく。
○ベンチがある。

教室

中庭

学校の
お気に入りの場所

図書館

運動場

○本を集中して読める。
○先生のおすすめの本がしょうかいされている。
○図書委員による読み聞かせがある。

○鉄ぼうの練習ができる。
○走ったりとんだりして、体を動かせる。
○他の学年の子といっしょに遊べる。

【谷口さんのタブレットの画面】

一 谷口さんは、文章に書くことを決めるために、タブレットでどのように考えを整理したか。

15

大問3 書くこと

○情報を整理する中で、足りない情報に気づき必要に応じて情報を収集する工夫が単元構成を工夫する。

学校の
お気に入りの場所

図書館

運動場

○本を集中して読める。
○先生のおすすめの本がしょうかいされている。
○図書委員による読み聞かせがある。

○鉄ぼうの練習ができる。
○走ったりとんだりして、体を動かせる。
○他の学年の子といっしょに遊べる。

一 谷口さんは、文章に書くことを決めるために、タブレットでどのように考えを整理したか。

【谷口さんのメモ】

「先生のおすすめの本」について

- ・先生的心に残った場面が書かれている。
- ・自分では手に取らないような本がしょうかいされている。

「読み聞かせ」について

- ・リクエストされた本を読んでいる。
- ・学年に合わせて本を読んでいる。
- ・気持ちをこめて読んでいる。

16

大問3 書くこと

【谷口さんのメモ】

「先生のおすすめの本」について

- ・先生に残った場面が書かれている。
- ・自分では手に取らないような本がしょうかいされている。

「読み聞かせ」について

- ・リクエストされた本を読んでいる。
- ・学年に合わせて本を読んでいる。
- ・気持ちをこめて読んでいる。

学校でいちばんお気に入りの場所

わたしが、しょうかいしたいいちばんのお気に入りの場所は図書館です。

お気に入りの理由は二つあります。

一つ目は、「先生のおすすめの本」のコーナーがあることです。このコーナーでは、先生方が小学生のときに読んでいた本がしょうかいされています。「先生のおすすめの本」のよいところは、先生に残った場面が書かれているので、そこに注目して読み進められるところです。

二つ目の理由は、「図書委員による読み聞かせ」があることです。毎週木曜日の昼休みに、図書委員による読み聞かせが行われています。わたしは、いつも友達をさそって行くようにしています。「読み聞かせ」のよいところは、図書委員が、

ア

24.0%

17

三 谷口さんは、「谷口さんの文章の下書き」の【ア】に、「谷口さんのメモ」をもとにして考えた「読み聞かせ」のお気に入りの理由を書こうとしています。あなたが谷口さんなら、【ア】に入る内容をどのように書きますか。次の【条件】に合わせて書きましよう。

大問3 書くこと

【谷口さんのメモ】

「先生のおすすめの本」について

- ・先生に残った場面が書かれている。
- ・自分では手に取らないような本がしょうかいされている。

「読み聞かせ」について

- ・リクエストされた本を読んでいる。
- ・学年に合わせて本を読んでいる。
- ・気持ちをこめて読んでいる。

答え例

例
（「読み聞かせ」のよいところは、図書委員が、）
リクエストされた本を読んでいるので、いろいろな本に出合うことができると思います。

例
（「読み聞かせ」のよいところは、図書委員が、）
学年に合わせて本を読んでいるので、どの学年も楽しんで聞くことができると思います。

例
（「読み聞かせ」のよいところは、図書委員が、）
気持ちをこめて読んでいるので、本の世界にひたって聞くことができると思います。

【条件】

- 【谷口さんのメモ】から言葉や文を取り上げて書くこと。
- 取り上げた言葉や文と、自分で考えた「読み聞かせのよいところ」を結びつけて書くこと。
- 「『読み聞かせ』のよいところは、図書委員が、」に続けて書き始め、三十字以上、四十字以内で書くこと。

三 谷口さんは、「谷口さんの文章の下書き」の【ア】に、「谷口さんのメモ」をもとにして考えた「読み聞かせ」のお気に入りの理由を書こうとしています。あなたが谷口さんなら、【ア】に入る内容をどのように書きますか。次の【条件】に合わせて書きましよう。

18

大問3 書くこと

○書き表し方の工夫について話し合う場面を設定する。
○教師が観点を明確に示す。

【谷口さんの文章の下書き】

学校でいちばんお気に入りの場所

わたしが、しょうかいしたいいちばんのお気に入りの場所は図書館です。

お気に入りの理由は二つあります。

一つ目は、「先生のおすすめの本」のコーナーがあることです。このコーナーでは、先生方が小学生のときに読んでいた本がしょうかいされています。「先生のおすすめの本」のよいところは、先生の心に残った場面が書かれているので、そこに注目して読み進められるところです。

二つ目の理由は、「図書委員による読み聞かせ」があることです。毎週木曜日の昼休みに、図書委員による読み聞かせが行われています。わたしは、いつも友達をさそって行くようにしています。「読み聞かせ」のよいところは、図書委員が、

ア

これらの理由から、図書館は、わたしにとっていちばんのお気に入りの場所です。ぜひ、みなさんも、図書館に足を運んでみてください。

三 事実と考えとの関係を明確にし、書く。

19

言語活動の土台づくり 書く習慣を育てる指導

書くことがおもしろい！楽しい！
授業や日常的に「書く」場面を組み込んでいく。
少しずつ・・・継続的に書き慣れさせる。

日記の例・・・一言感想、なりきり日記、もしもシリーズ、手紙、○○紹介、テーマ日記、学習日記 等

○具体的に表現することで、より分かりやすく伝えることを実感させる。

○「くわしく書く」「様子が分かるように書く」とは
どういうことか、具体的にモデルを示す。

20

「書くことがない。」
「何を書いてよいか分からない。」
(題材をみつけることができない)
「どのように書けばよいのか分からない。」
「うまく書く自信がない。」



表現できる子どもを育てる3つのポイント

伝えたい「内容」がある。
伝える「技術」がある(方法が分かる)。
お互いを認め合い、伝える「場」がある。



目的意識

相手意識

場面意識

21

「書くこと」は、「考えること」
自分の考えを書く

- 自分の考えを振り返る。
- 自分の考えが整理される、分かる。
- 新しい考えが生まれる。

繰り返し行うことにより、
考えが深まっていく

とにかくほめる！

まず、伝えたい思いが書けたことや構成、
上手な表現などを具体的にほめましょう。



教師がよき読者になる
安心させる

22

大問4 読むこと

島木さんの学級では、「身の回りにある便利なもの」について調べています。島木さんは、「マーク・記号について調べました。次の『資料1』を読んで、あとの問いに答えましょう。」

島木さんは、「身の回りには、たくさんマーク・記号があります。家にある電気製品、学校で使う文房具やコンピュータ、図書館にある本、駅にある案内表示、街にある自動販売機や道路標識など、さまざまなマーク・記号が思い浮かぶでしょう。そして、それを目にした人に、何らかの意味を伝えるという後わりをもっています。人に何かを伝えることを「コミュニケーション」といいます。コミュニケーションの道具として、マーク・記号はふくまれますが、ことばや文字だけでは伝えないことばや文字も広い意味では、マーク・記号にふくまれます。ことばの通じない外国人や文字の読めない小さい子どもがコミュニケーションをもつことを想像すればわかるでしょう。そんなときに、見ただけで意味をイメージできる、ことばや文字以外のマーク・記号が大きな後わりをはたします。

4 島木さんの学級では、「身の回りにある便利なもの」について調べています。島木さんは、「マーク・記号について調べました。次の『資料1』を読んで、あとの問いに答えましょう。」

【資料1】

わたしたちの身の回りには、たくさんマーク・記号があります。家にある電気製品、学校で使う文房具やコンピュータ、図書館にある本、駅にある案内表示、街にある自動販売機や道路標識など、さまざまなマーク・記号が思い浮かぶでしょう。そして、それを目にした人に、何らかの意味を伝えるという後わりをもっています。人に何かを伝えることを「コミュニケーション」といいます。コミュニケーションの道具として、マーク・記号はふくまれますが、ことばや文字だけでは伝えないことばや文字も広い意味では、マーク・記号にふくまれます。ことばの通じない外国人や文字の読めない小さい子どもがコミュニケーションをもつことを想像すればわかるでしょう。そんなときに、見ただけで意味をイメージできる、ことばや文字以外のマーク・記号が大きな後わりをはたします。

【資料2】

- 1 島木さんが読んだ『資料1』に書かれている内ようとして最もふさわしいものを、次の1から4
- 2 マーク・記号の大きさや後わり
- 3 マーク・記号の大きさや後わり
- 4 マーク・記号の大きさや後わり

マーク・記号の約束

マーク・記号には、みんなが理かいてできるように、色と形にいくつかの約束があります。特に安全に関わるマークは、例えば赤色の円は「禁止」や「きけん」、黄色に黒わくの三角形は「注意」、青色の円は「指示」、緑色の四角形は「安全」というように、色と形が決まっています。道路標しきも、ほとんど同じ仕組みで、「進入禁止」は禁止やきけんを表す赤色の円に白い横ぼう、「学校あり」は注意を表す黄色に黒わく、「指定方向」は指示を表す青色の円に方向を示す矢印、「非常電話」には安全の緑色が使われています。

すぐに意味がわかる

走る人の形を使った非常口のマークは、きつとみなさんも見たことがあるでしょう。これは、日本で生まれたマークです。とてもわかりやすいので今では世界中でこれをもとにして作られたマークが使われています。



このマークが世界的なマークになったのは、どこの国のどんな人が見ても、「こちらに非常口があります」というメッセージを受け取ることができるからです。

ひと目でわかる

マーク・記号は、遠くからでも見やすいように大きく表示したり、はっきりとした色を使ったりしています。どんな場所にあっても目立つ必要があります。そのため、マーク・記号は、かん単なこと、そして何よりわかりやすいことを大切につくられています。



例えば、レストランのマークは、ナイフとフォークの図がらで「食事」＝「レストラン」を表しています。これを「シンボルマーク」といい、わかりやすいマークの例のひとつです。

【資料2】

大問4 読むこと

二 島木さんは、「ことばの通じない外国人や文字の読めない小さい子」と同じような内容を表している言葉を、【資料2】の中から見つけました。その言葉を【資料2】の中から、九字で書きぬきましょう。

【島木さんのノートの一部】
マーク・記号とは「色や形で意味を表すしるし」

・ コミュニケーションの道具
言葉の通じない外国人や小さい子とも、コミュニケーションをとることができる。

26.8%

マーク・記号の約束

マーク・記号には、みんなが理かいてできるように、色と形にいくつかの約束があります。特に安全に関わるマークは、例えば赤色の円は「禁止」や「きけん」、黄色に黒わくの三角形は「注意」、青色の円は「指示」、緑色の四角形は「安全」というように、色と形が決まっています。道路標しきも、ほとんど同じ仕組みで、「進入禁止」は禁止やきけんを表す赤色の円に白い横ぼう、「学校あり」は注意を表す黄色に黒わく、「指定方向」は指示を表す青色の円に方向を示す矢印、「非常電話」には安全の緑色が使われています。

すぐに意味がわかる

走る人の形を使った非常口のマークは、きつとみなさんも見たことがあるでしょう。これは、日本で生まれたマークです。とてもわかりやすいので今では世界中でこれをもとにして作られたマークが使われています。



このマークが世界的なマークになったのは、どこの国のどんな人が見ても、「こちらに非常口があります」というメッセージを受け取ることができるからです。

ひと目でわかる

マーク・記号は、遠くからでも見やすいように大きく表示したり、はっきりとした色を使ったりしています。どんな場所にあっても目立つ必要があります。そのため、マーク・記号は、かん単なこと、そして何よりわかりやすいことを大切につくられています。



例えば、レストランのマークは、ナイフとフォークの図がらで「食事」＝「レストラン」を表しています。これを「シンボルマーク」といい、わかりやすいマークの例のひとつです。

【資料2】

大問4 読むこと

すぐに意味がわかる

走る人の形を使った非常口のマークは、きっとみなさんも見たことがあるでしょう。これは、日本で生まれたマークです。とてもわかりやすいので今では世界中でこれをもとにして作られたマークが使われています。

このマークが世界的なマークになったのは、**どこの国のどんな人**が見ても、「こちらに非常口があります」というメッセージを受け取ることができるからです。



○段落の大体の内容を捉え、全体の構成を把握し、課題を解決するために、必要な情報を捉える。

【島木さんのノートの一部】
マーク・記号とは「色や形で意味を表すしるし」

・ コミュニケーションの道具
・ **言葉の通じない外国人や小さい子**とも、コミュニケーションをとることができる。

二 島木さんは、「ことばの通じない外国人や文字の読めない小さい子」と同じような内容を表している言葉を、【資料2】の中から見つけました。その言葉【資料2】の中から、九字で書きぬきましょう。

25

大問4 読むこと

ひと目でわかる

マーク・記号は、遠くからでも見やすいように大きく表示したり、はっきりとした色を使ったりしています。どんな場所にあっても目立つ必要があります。そのため、マーク・記号は、かん単なこと、そして何よりわかりやすいことを大切につくられています。

例えば、レストランのマークは、ナイフとフォークの図がらで「食事」＝「レストラン」を表しています。これを「シンボルマーク」といい、わかりやすいマークの例のひとつです。



○多様な資料から情報を収集する経験を積み重ねる。
○条件に即して、書く機会を設ける。

【島木さんのノートの一部】
○ひと目でわかる

・ **どんな場所にあっても、目立つ必要がある。**
・ シンボルマーク
例 レストランのマーク **が大切。**

三 【島木さんのノートの一部】の にあてはまる言葉を、「が大切。」につながるように、【資料2】の言葉を使って、十字以上、十五字以内で書きましょう。

32.3%

26

学習指導に当たって

○多様な資料から必要な情報を収集する場合

- ・読む目的を明確にする
- ・複数の情報の内容を比較する

効果的な読みの工夫が重要

目的に応じて効果的な読み方を選ぶ

- 比べ読み（複数の教材を）
- 速読
- 多読（同じ課題で多くの本を重ねたり並行させたりして読む）
- 詳細に読む（視点をもち場面を選んで）

27

学習指導に当たって

条件に即して書く

- 目的に応じるように
- 示された観点より
- 選択した情報（観点）を用いて
- 示された言葉・表現を用いて
- 書き出し・書き結びを用いて
- 字数の範囲指定

○「考えの形成」にあたり、手引きとして示してみる。

- ・これらの観点から一つ選んで書いてみよう
- ・ここに挙げた言葉から選んで書いてみよう
- ・ここに挙げた書き出しを使ってみよう
- ・ここに挙げた書き結びを使ってみよう

※例文は常に準備しておくこと。

「私（指導者）ならこう書くよ。もし、似た考えだ、という人は、使ってもいいよ。」

※アウトプット（発信・表現）を求めるなら、手引きとなる情報（例）をインプットできるように教材研究をしておくこと。

28

学力向上のための授業改善

目指す子供の姿

- 日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付け、適切に使うことができる。
- 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」に関する活動において、目的や意図に応じて、必要な情報を選び、他者と伝え合うことを通して、自分の思いや考えをもったり、まとめたり、広げたりして、表現することができる。
- 課題解決に向けて活動に粘り強く取り組むなかで、言葉を通じて人と関わり、言葉がもつよさを認識しようとしたり、言葉をよりよく使おうとしたりしている。

「国語科における『令和7年度の重点』」より

29

学力向上のための授業改善

目指す子供を育成するための教師が取り組む具体的な実践内容

- ①育成を目指す資質・能力を明確にし、実施状況を評価して改善を図りながら、子供一人一人に最適な学びを重ねていく場の設定
 - ◇振り返りやアンケート、学力調査等を活用し、子供一人一人のつまずきを捉えて指導する。
 - ◇国語科で育成した資質・能力を他教科等の学習に生かすことができるように、教科等横断的な学習の充実を図る。

「国語科における『令和7年度の重点』」より

30

学力向上のための授業改善

目指す子供を育成するための教師が取り組む具体的な実践内容

②「知識及び技能」と「思考力、判断力、表現力等」を関連させ、言語活動を通して資質・能力を育成する単元の構想と展開

- ◇語彙の量と質の充実を図るために、読書活動の推進や実生活に関連した言語活動を取り入れるなどして、語句を蓄積することや蓄積した語句を意図的に使わせることに、継続的に取り組む。
- ◇目標と言語活動の設定の工夫、学習の手引きや多様なモデルの提示等指導と支援を通し、他者と協働しながら、主体的に学習を進める過程を設定する。
- ◇子供の実態を的確に捉え、実態に即して、学習過程を弾力的にし、螺旋的・反復的に繰り返したり取り立てたりして指導する。
- ◇目的や意図に応じて、必要な情報を取り出して整理し、その関係を捉えることで、話や文章を正確に理解したり、自分のもつ情報を整理し、その関係を明確にすることで、適切に表現したりする活動を設定する。
- ◇言葉による見方・考え方を働かせるために、子供が比較・分類・関係付け等様々な思考に取り組むよう発問や指示を工夫する。

31

「国語科における『令和7年度の重点』」より

学力向上のための授業改善

目指す子供を育成するための教師が取り組む具体的な実践内容

③身に付けた資質・能力や学習内容をICT活用等により自覚化を図る指導の充実

- ◇多様な学習の記録（ノート、成果物、映像等電子データ）が生まれるように工夫する。
- ◇「書くこと」を通して振り返りをさせるとともに、ICTの効果的な活用により、学びを深めさせる。

「国語科における『令和7年度の重点』」より

32

令和7年度
小学校第5学年
算 数

注 意

- 1 「始め」の合図があるまで、中を開かないでください。
- 2 先生の指示があつてから、組、出席番号、名前を書いてください。
- 3 問題は、1ページから12ページまであります。
- 4 答えは、すべて解答用紙の指示された場所に、はっきりと書いてください。
- 5 問題用紙のあいている場所は、自由に使ってもかまいません。

組	出席番号	名 前



令和7年度 徳島県学カステップアップテスト【小学校算数】

お話しすること

- 1 領域別結果
- 2 設問別結果
- 3 調査問題の概要と学習指導の改善・充実のポイント
- 4 その他

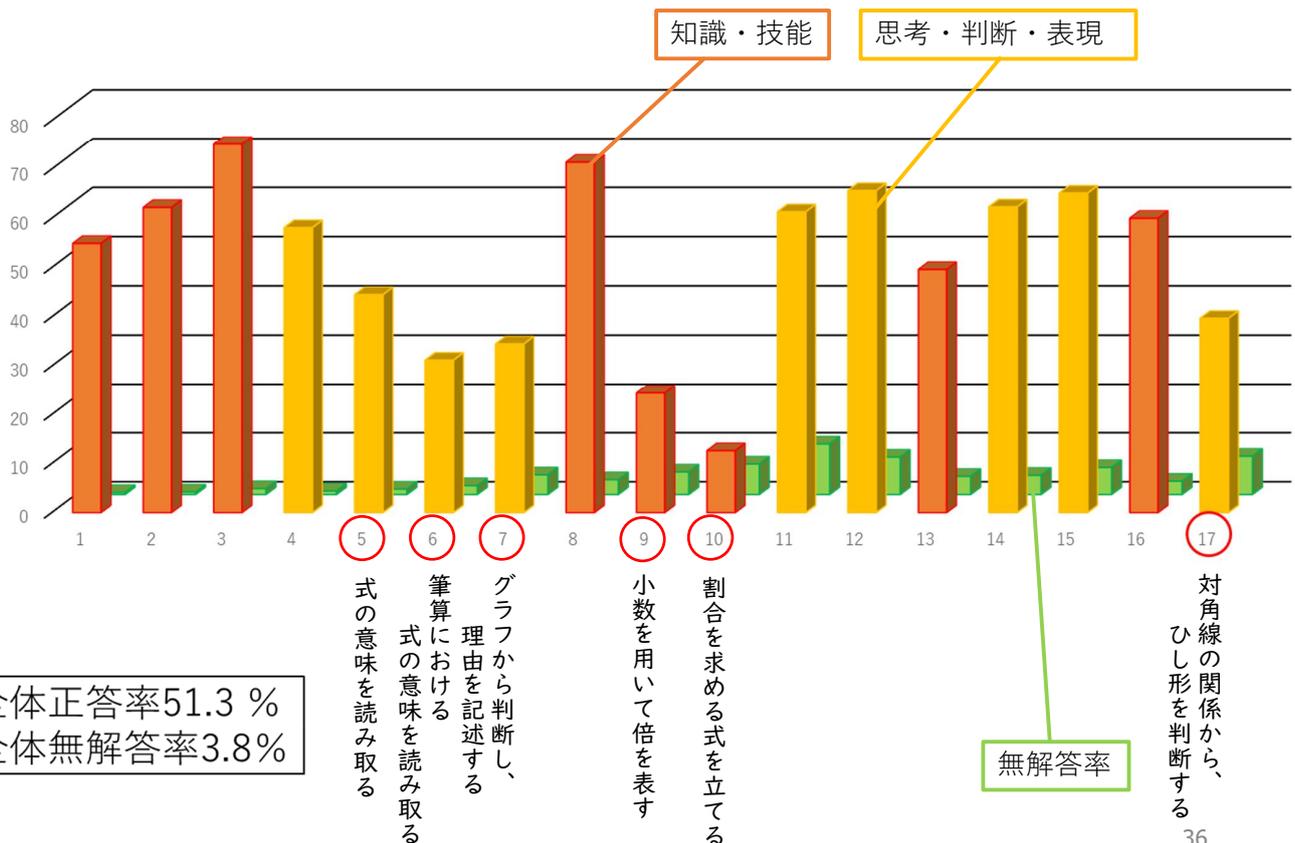
第5学年 領域別結果

全体・領域別 正答率 (%)

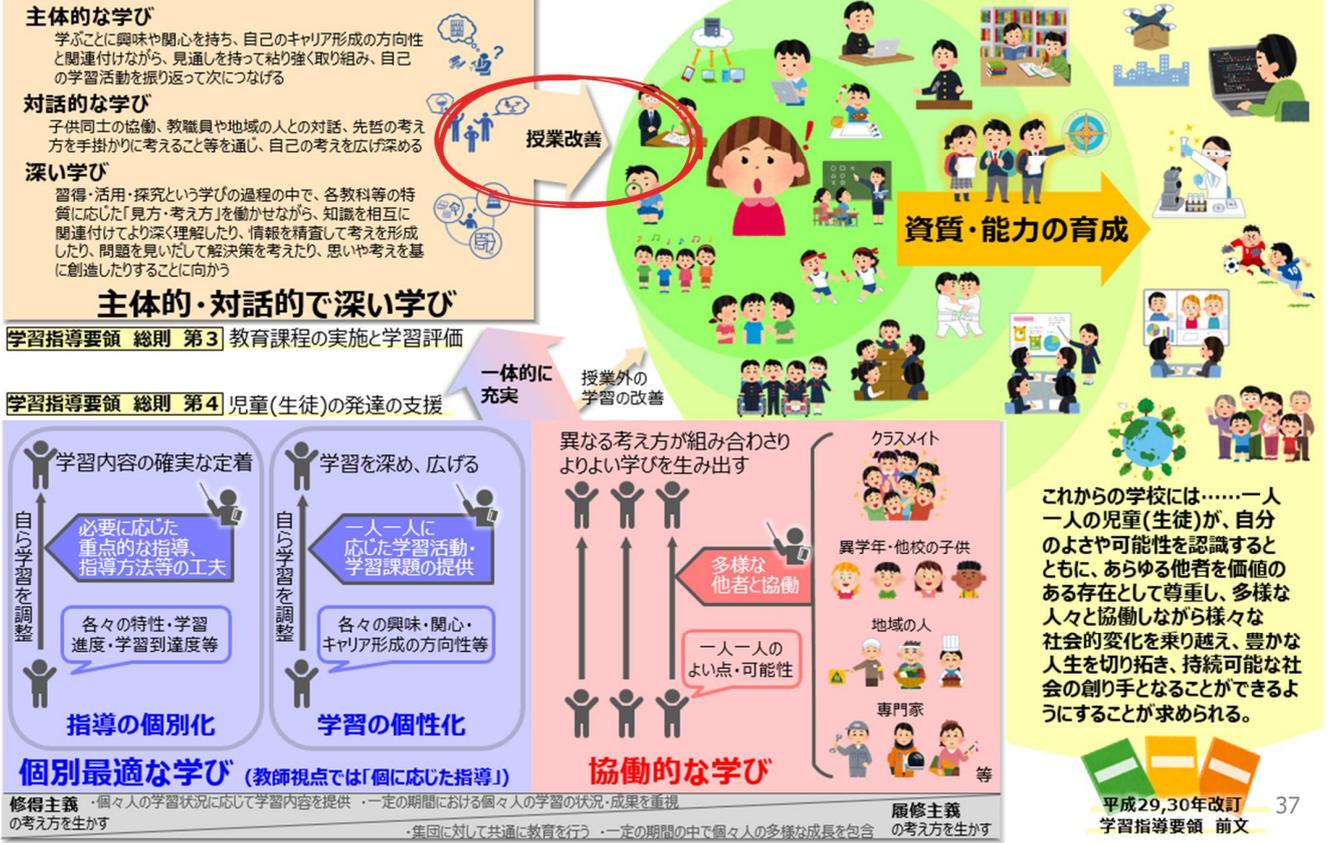
	全体	数と計算	図形	変化と関係	データの活用
令和7年度 5年生	51.3 (3.8)	43.4 (1.7)	57.6 (3.2)	48.4 (6.5)	56.2 (4.6)
令和6年度 4年生	50.5 (5.8)	57.2 (2.9)	46.2 (8.0)	47.3 (4.2)	43.5 (11.1)

※ () は無解答率

第5学年 設問別結果



「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実（イメージ）



**数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、
数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。**

知識及び技能

数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数理的に処理する技能を身に付けるようにする。

思考力、判断力、表現力等

日常の事象を数学的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり目的に応じて柔軟に表したりする力を養う。

学びに向かう力、人間性等

数学的活動の楽しさや数学のよさに気付き、学習を振り返ってよりよく問題解決しようとする態度、算数で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、
 数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

数学的な見方・考え方とは

事象を、数量や図形及びそれらの関係などに着目して捉え、根拠を基に筋道を立てて考え、統合的・発展的に考えること

「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の全てに対して、働かせるもの

[解説p.23参照]

39

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、
 数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(2) 「A 数と計算」の内容の概観

数学的な見方・考え方	・数の表し方の仕組み，数量の関係や問題場面の数量の関係などに着目して捉え，根拠を基に筋道を立てて考えたり，統合的・発展的に考えたりすること			
	数の概念について理解し，その表し方や数の性質について考察すること	計算の意味と方法について考察すること	式に表したり式に表されている関係を考察したりすること	数とその計算を日常生活に生かすこと
第1学年	・2位数，簡単な3位数の比べ方や数え方	・加法及び減法の意味 ・1位数や簡単な2位数の加法及び減法	・加法及び減法の場面の式表現・式読み	・数の活用 ・加法，減法の活用
第2学年	・4位数，1万の比べ方や数え方 ・数の相対的な大きさ ・簡単な分数	・乗法の意味 ・2位数や簡単な3位数の加法及び減法 ・乗法九九，簡単な2位数の乗法 ・加法の交換法則，結合法則	・乗法の場面の式表現・式読み ・加法と減法の相互関係 ・() や□を用いた式	・大きな数の活用 ・乗法の活用

[解説p.42参照]

40

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、
 数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

A	数と計算	数の表し方の仕組み、数量の関係や問題場面の数量の関係など
B	図形	図形を構成する要素、それらの位置関係や図形間の関係など
C	測定	身の回りにあるものの特徴など
	変化と関係	二つの数量の関係など
D	データの活用	日常生活の問題解決のために、データの特徴と傾向など

○○に着目して捉え、根拠を基に筋道を立てて考えたり、
 統合的・発展的に考えたりすること

[解説p.42-67参照]

41

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、
 数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

統合的に考える

異なる複数の事柄をある観点から捉え、
 それらに共通点を見いだして一つのものとして捉え直すこと



つまり、～と同じってことだね。

- ・ 小数のしくみの学習 → 「整数のしくみはどうだった？」
- ・ 重さの普遍単位 (g) の学習 → 「長さやかさの単位は？」
- ・ 角柱の学習 → 「立方体や直方体も角柱？」

42

**数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、
数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。**

発展的に考える

物事を固定的なもの、確定的なものと考えず、
絶えず考察の範囲を広げていくことで新しい知識や理解を得ようとする



だったら、こんなときは？

・ 数を1つ大きくしてみると？

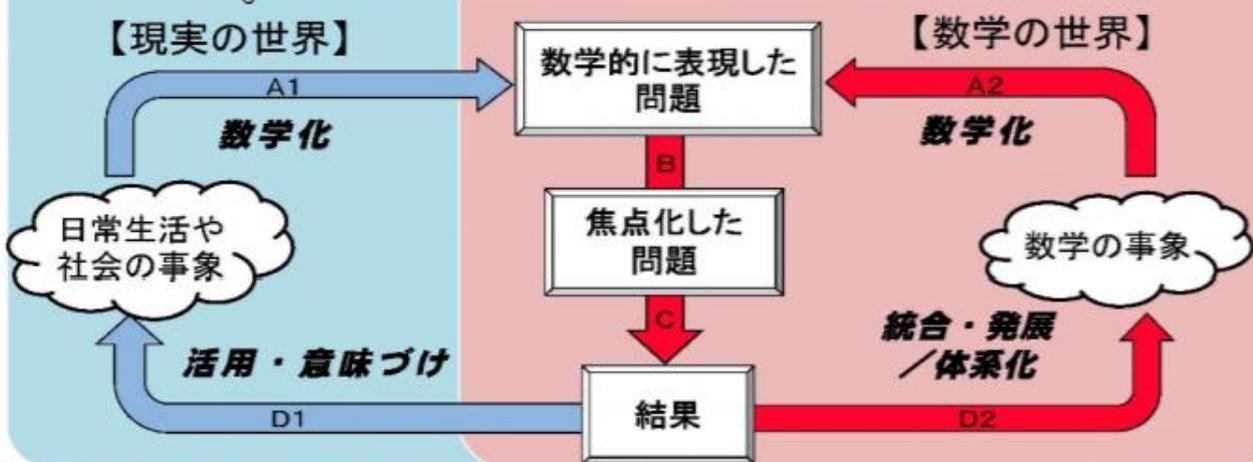


・ 分数のたし算の仕方は分かった。ひき算のときはどうする？

43

算数・数学の学習過程のイメージ

算数・数学の問題発見・解決の過程



日常生活や社会の事象を数理的に捉え、
数学的に処理し、問題を解決することができる。

数学の事象について統合的・発展的に考え、
問題を解決することができる。

事象を数理的に捉え、数学の問題を見だし、問題を自立的、協働的に解決することができる。

※各場面で、言語活動を充実

※これらの過程は、自立的に、時に協働的に行い、それぞれに主体的に取り組めるようにする。

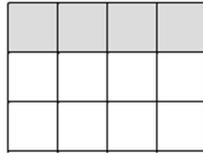
※それぞれの過程を振り返り、評価・改善することができるようにする。

[解説p.8参照]

調査問題の概要と学習指導の改善・充実のポイント

1

(1) 次の長方形の色をぬった部分を表す分数を、あとのアからエまでの中から1つ選んで、その記号を書きましょう。



ア $\frac{1}{4}$

イ $\frac{1}{3}$

ウ $\frac{4}{8}$

エ $\frac{2}{3}$

正答率 54.9%

無解答率 0.4%

分数の意味について理解している。【A/知】

もとの大きさ（単位分数）のいくつ分か

○もとの大きさを可視化

○何がいくつ分かを問う

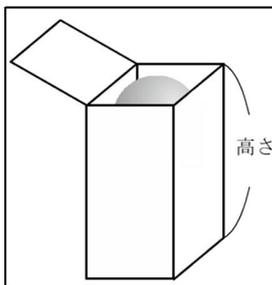
→一人一人が説明する場をつくる

45

調査問題の概要と学習指導の改善・充実のポイント

1

(4) 次の図のように、直方体の形をした箱の中に半径3cmのボールがぴったり2こ入っています。この箱の高さは何cmですか。答えを書きましょう。



図形を構成する要素の関係を捉え、直方体の高さを求めることができる。【B/思】

正答率 58.1%

無解答率 0.7%

Tokushima Navi ~No.5~
(令和6年10月) 参照

令和6年度全国学力・学習状況調査
全国正答率 36.5%

徳島県正答率 全国差 -2.7%

46

調査問題の概要と学習指導の改善・充実のポイント



令和6年度全国学力・学習状況調査結果等を受けて、算数科における課題の改善点を紹介します。授業アイデア例の「敢えて教師が問い掛けているところ」や「児童主体の学びとなる展開」を日々の実践に生かしていきましょう。

課題 球の直径の長さで立方体の1辺の長さを捉え、立方体の体積の求め方を式に表す

平均正答率 徳島県33.8% 全国36.5%

3 (3)

直径22cmの球の形をしたボールがあります。



このボールがぴったり入る立方体の形をした紙の箱の体積を調べます。



この立方体の形をした紙の箱の体積が何 cm^3 かを求める式を書きましょう。ただし、紙の厚さは考えないものとします。また、計算の答えを書く必要はありません。

授業アイデア例

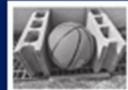
ボールが入った箱の体積を求めよう 第5学年

児童のつまずき

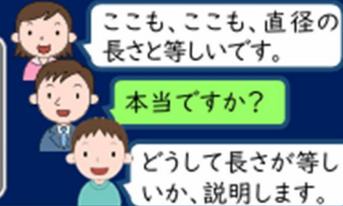
「ボールの直径」や「立方体の体積の求め方」については理解していたとしても、本設問のように「ボールの直径」と「立方体の1辺」の関係を捉えて問題解決することはできていないと考えられる。

授業改善

ボールを直方体などではさみ測定する活動においては、タブレットで撮影し、児童がペンでボールの直径の長さを可視化する。ボールの直径の長さが、ボールと直方体が接していないところの長さに対応していることを捉えられるようにするため、敢えて問い、説明する場を設ける。



学習指導要領解説 算数編P162より



調査問題の概要と学習指導の改善・充実のポイント

2



なおみ

わたしは、 $100 \times 20 + 80 \times 20$ の式で求められると思います。

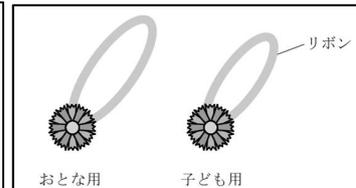


あきら

わたしは、 $(100 + 80) \times 20$ の式で求められると思います。

なおみさんの「 100×20 」とあきらさんの「 $100 + 80$ 」は、それぞれ何を表していますか。次のアからエまでの中から1つずつ選んで、その記号を書きましょう。

- ア おとな用のメダル20こに必要なリボンの長さ
- イ 子ども用のメダル20こに必要なリボンの長さ
- ウ おとな用のメダル1こと子ども用のメダル1こに必要なリボンの長さ
- エ おとな用のメダル20こと子ども用のメダル20こに必要なリボンの長さ



正答率 44.5%
無解答率 1.1%

() を用いた式や、加法と乗法の混合した式を場面と関連付けて読み取ることができる。【A/思】

調査問題の概要と学習指導の改善・充実のポイント

3

【88÷2の筆算】	【まことさんの説明】
手順1 $\begin{array}{r} 2 \overline{)88} \end{array}$	80について考えます。
手順2 $\begin{array}{r} 4 \\ 2 \overline{)88} \\ \underline{8} \end{array}$	
手順3 $\begin{array}{r} 4 \\ 2 \overline{)88} \\ \underline{8} \end{array}$	8について考えます。

正答率 31.2%
無解答率 1.8%

手順2で、十の位にたてた「4」は、次の式のあ、い、う、えのどの計算をした結果を表していますか。1つ選んで、その記号を書きましょう。

$$\begin{aligned} 88 \div 2 &= (\underbrace{80}_{\text{あ}} + 8) \div 2 \\ &= \underbrace{80}_{\text{い}} \div 2 + \underbrace{8}_{\text{う}} \div 2 \\ &= \underbrace{40}_{\text{え}} + 4 \\ &= 44 \end{aligned}$$

(2位数)÷(1位数)の筆算について、図を基に、各段階の商の意味を考えることができる。【A/思】

49

調査問題の概要と学習指導の改善・充実のポイント

2

式の意味 数量の関係

3

- 式の提示の工夫
- 式の意味を説明する場
 - 具体物や図などの算数的な表現を用いて
 - 問題場面に立ち返って
 - 筆算は手順だけの習得にならないように具体物や図で表して

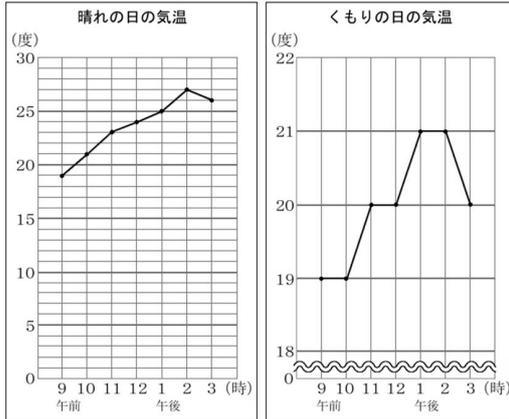
【88÷2の筆算】	【まことさんの説明】
手順1 $\begin{array}{r} 2 \overline{)88} \end{array}$	80について考えます。
手順2 $\begin{array}{r} 4 \\ 2 \overline{)88} \\ \underline{8} \end{array}$	
手順3 $\begin{array}{r} 4 \\ 2 \overline{)88} \\ \underline{8} \end{array}$	8について考えます。

66÷3の筆算	具体物や図	式
手順1 66を3で割る。 $\begin{array}{r} 3 \overline{)66} \end{array}$	10を⑩、1を①で表して、 ⑥6個と①6個を3等分 します。 	$66 \div 3 = (60 + 6) \div 3$
手順2 60を3で割る。 $\begin{array}{r} 2 \\ 3 \overline{)66} \\ \underline{6} \end{array}$	⑥6個を3等分します。 	$60 \div 3 = 20$

60÷3=20のことですね。

調査問題の概要と学習指導の改善・充実のポイント

4



グラフから変化を読み取り、示された事柄が正しくないことを判断し、その理由を記述することができる。【D/思】

正答率 34.5%
無解答率 4.0%



午前10時から午前11時までの間の気温の変わり方をくらべると、くもりの日のほうが気温の変わり方が大きいと思うのですが、どう思いますか。

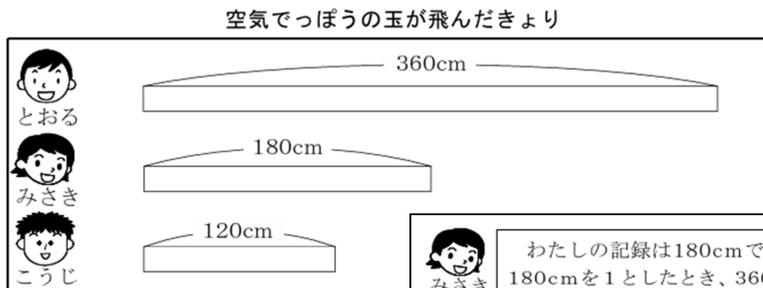
グラフの見かけにだまされない

グラフは、目盛りの付け方によって、見かけが異なる
目盛りの付け方によって、**どのように見え方が変わるかを
実感することが必要**→自分で極端なグラフをつくってみる

51

調査問題の概要と学習指導の改善・充実のポイント

5



わたしの記録は180cmで、とおるさんの記録は360cmですね。180cmを1としたとき、360cmは2にあたる大きさになりますね。

「180cmを1としたとき」とは、どういう意味ですか。180cmは1mではありません。

「180cmを1としたとき」というのは、「180cmをもとにしたとき」という意味です。



なるほど。「1とする」とは、「もとにする」ということなのですね。それなら、わたしの記録の120cmをもとにして考えてもいいのでしょうか。



52

調査問題の概要と学習指導の改善・充実のポイント

5



みさき

もちろん、いいです。どんな大きさでも1として考えることができます。
こうじさんの記録の120cmを1としたとき、360cmは⑦にあたる大きさになります。

割合を求めることができる。【C/知】

正答率 71.4%
無解答率 3.0%

基準量を「1」とみる

一方を基準量としたときに、他方の数量がどれだけに相当するかという数量関係に着目することが大切

まずは、基準量を「1」とみる見方

そして、多様な数量を基準量「1」とみる見方を繰り返す

53

調査問題の概要と学習指導の改善・充実のポイント

5



みさき

もちろん、いいです。どんな大きさでも1として考えることができます。
こうじさんの記録の120cmを1としたとき、360cmは⑦にあたる大きさになります。

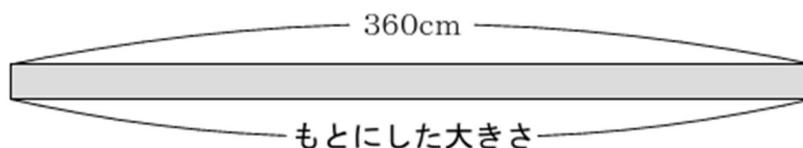
割合を求めることができる。【C/知】

正答率 71.4%
無解答率 3.0%



とodor

こうじさんの記録の120cmを1とすると、みさきさんの記録の180cmは④にあたる大きさになります。
では、360cmを1とすると、180cmはいくつにあたるのですか。



小数を用いて倍を表すことを理解している。【C/知】

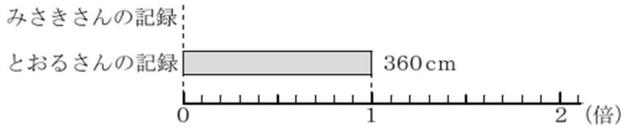
54

調査問題の概要と学習指導の改善・充実のポイント

5



もとにする大きさのほうが大きい場合は、わかりづらいですね。360cmを1とすると、180cmがいくつにあたるかは、 $\frac{180}{360}$ という式で求められます。図に表してみます。



割合を求める立式ができる。【C/知】

正答率 12.6%
無解答率 6.2%

基準量をもとに比較量を図に表すことができる。【C/思】

正答率 61.3%
無解答率 10.3%

割合の見方

- 式や答えだけでなく、図に表す
 - 図の書き出しを考慮（基準量「1」を示すか）
 - 数量の関係をつかめたか
 - 小数倍、純小数倍の理解
- 簡単な場合に置き換える
 - 「～の何倍か」として、統合的・発展的に考える

55

調査問題の概要と学習指導の改善・充実のポイント

6



わたしは、好きなおにぎりの具とのりについて、アンケートを行いました。

好きなおにぎり調べ (人)

		のり		合計
		まく	まかない	
具	さけ	7	6	13
	こんぶ	5	4	9
	うめ	2	1	3
合計		14	11	25

二次元の表の見方



「具」について、「こんぶ」を選んだ人数は、「うめ」を選んだ人数の $\frac{5}{2}$ 倍になっています。では、「のり」について、「まく」を選んだ人の中で、どの具を選んだ人がいちばん多いかは、表の中のどの数をくらべるとわかりますか。

正答率 49.6%
無解答率 3.7%

データの特徴や傾向など

- 見いだしたことを表現する伝え合い
 - 表のどの部分から、グラフのどの部分からそのように考えたのかを明確にする
 - 表やグラフを示しながら、伝え合うことが必要

56

調査問題の概要と学習指導の改善・充実のポイント

6

図書アンケートの2つの質問の結果 (人)

		9月に図書室で 5冊以上借りましたか		合計
		はい	いいえ	
読書が 好きですか	はい	①	②	③
	いいえ	④	⑤	⑥
合計		⑦	⑧	189

令和3年度
全国学力学習状況調査

正答率 62.3%
全国比 -5.2%

場所と落とし物の種類別の落とし物調べ (こ)

場所	消しゴム	えん筆	ハンカチ	ティッシュ	その他	合計
教室	7	2	0	0	2	
体育館	0	0	2	3	0	
音楽室	①	0	0	0		
理科室		1	0	0	0	
運動場	0	0	1	0	0	
合計						②

令和4年度
ステップアップテスト

正答率 50.9%
無解答率 14.0%

4

11月のお客さん調べ (人)

		スカート	
		買った	買わなかった
買った ズボン	①	8	92
	③	72	283

令和5年度
ステップアップテスト

正答率 52.3%
無解答率 12.0%

57

調査問題の概要と学習指導の改善・充実のポイント

6

二次元の表の必要性和よさの感得

- 身近な二次元の表
 - 時間割表 (3年生)
 - 統計グラフコンクール受賞作品
- 複数の観点からデータを整理・可視化できる
 - 複数の観点が必要となる問題設定
 - どのように整理すればわかりやすく伝えられるかを問う
 - 新たな結論に出合う経験

58

調査問題の概要と学習指導の改善・充実のポイント

6

対角線に関わる性質から、ひし形を判断することができる。【B/思】

正答率 39.7%
無解答率 7.8%

(6) しおりさんは、長方形、正方形、台形、平行四辺形、ひし形のそれぞれの対角線について調べ、次の表のように、A、B、Cの持ちようがいつもあてはまるものには○、あてはまらないものには×をつけ、整理しました。表の⑦にあてはまる四角形の名前を書きましょう。

	()	長 方 形	(⑦)	()	()
A 2本の対角線の長さが等しい。	○	○	×	×	×
B 2本の対角線がそれぞれのまん中の点で交わる。	○	○	○	○	×
C 2本の対角線が垂直に交わる。	○	×	○	×	×

図形を構成する要素

- 構成⇔分解
- 補助線をかき習慣
- 他の図形と比較

59

指導に生かす評価

• 日常生活の問題

• 学習のねらい

ねらいの
達成

■ 個人解決

どこにつまずいているのか

(A B C)

学び合い

考えの深まり・高まり

• 学習のまとめ

• 評価問題

■ 評価問題での解決(A B)

プラス
図や理由

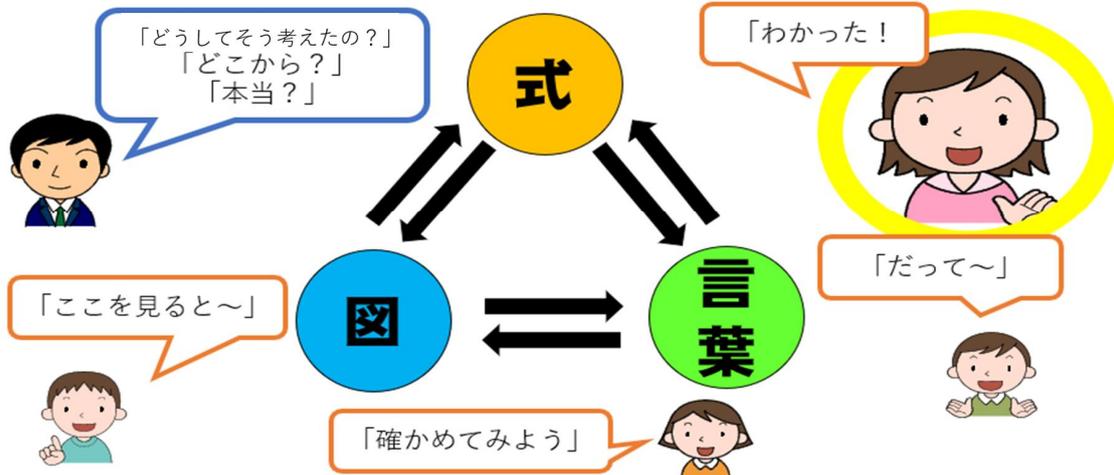
■ 学習感想

60

教師は説明するのではなく、つまずきを問い返す

〇〇さんが～って言っていますが、～ってどういうことかな。
ペアで話してみよう。みんなに話してみよう。

数学的な表現をつなぐ



61

教師はわからない児童に共感し、味方になる
自己肯定感を大切にしてみんなでわかっていこうとする学級に

数学的な表現をつなぐ

数学的な表現

具体物 図 数 式 表 グラフ 相互の関連

62

適用問題では「図」や「理由」を

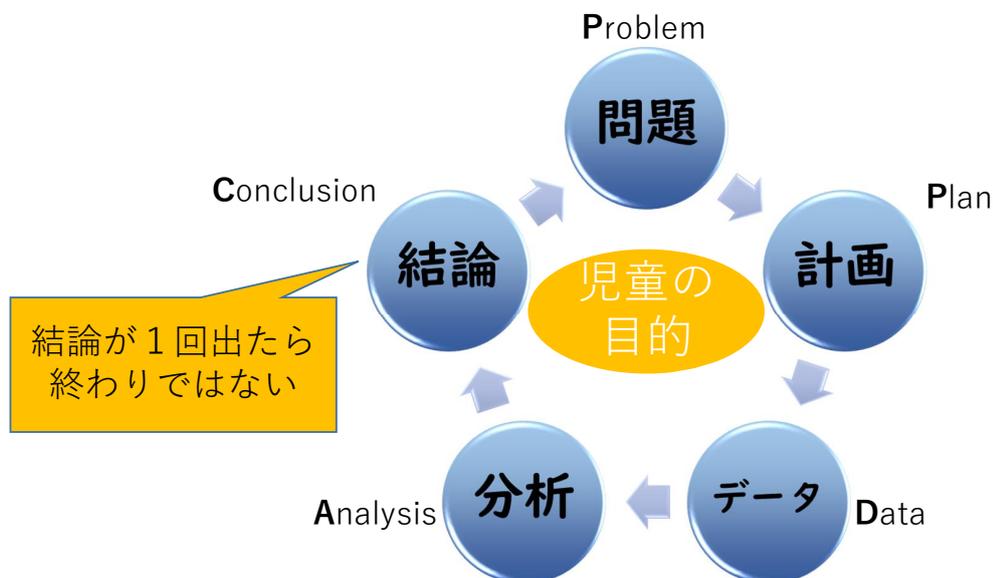
- 日付 授業番号
 - 算数の問題
 - 学習のねらい
 - (見通し)
 - 自分で解決する
(友達の意見を聞いて書き加える)
- 友達の考えを写す
 - 学習のまとめ
 - **適用問題**の解決

プラス
図に表しましょう
理由を書きましょう

63

「データの活用」領域

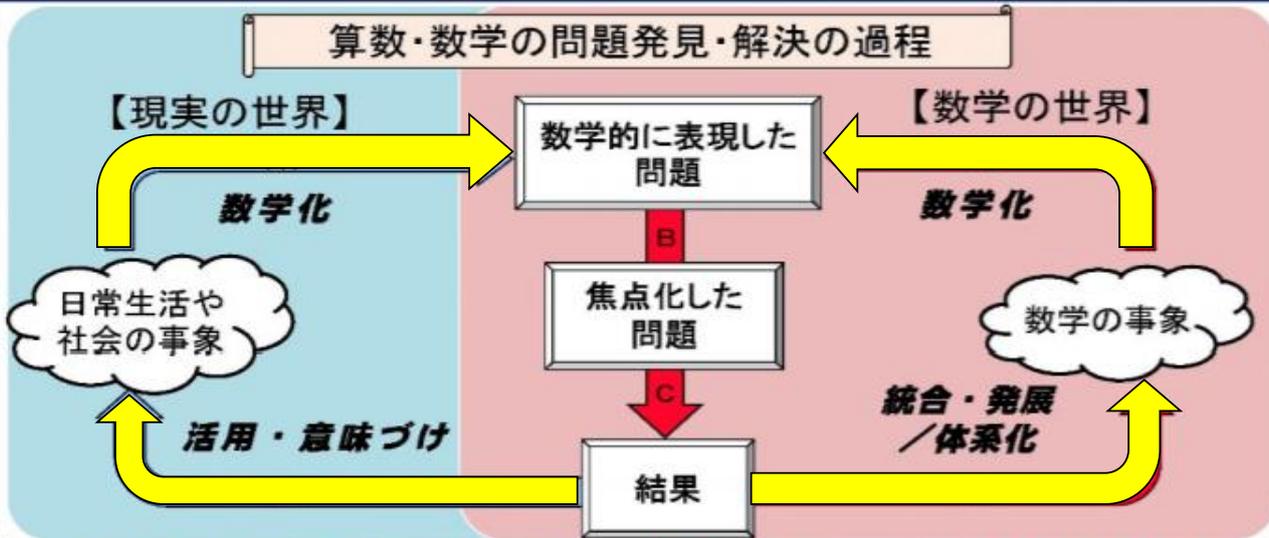
PPDACサイクルをまわす



一方向に進むものではなく、行き来しながら探究

64

算数・数学の学習過程のイメージ



日常生活や社会の事象を数理的に捉え、
数学的に処理し、問題を解決することができる。

数学の事象について統合的・発展的に考え、
問題を解決することができる。

事象を数理的に捉え、数学の問題を見だし、問題を自立的、協働的に解決することができる。

※各場面で、言語活動を充実
 ※これらの過程は、自立的に、時に協働的に行い、それぞれに主体的に取り組めるようにする。
 ※それぞれの過程を振り返り、評価・改善することができるようにする。

[解説p.8参照]

徳島県の課題と方策

【算数】児童が問題を発見し、既習内容と関連付け、
意味や根拠を考えることに課題がある。

課題①「児童が問題を発見し、既習内容と関連付けること」

方策

- 問題を発見できるようにするためには
児童が数学的な見方・考え方を働かせながら問題を観察する場を設け、まずは解けないこと（新しい問題）
に気づくようにすることが大切です。 教師の問いかけ「何に困っているのですか？」
- 既習内容と関連付けることができるようにするためには
どうしたらよいかを問うことにより、児童が自分で既習内容を振り返ったり、「～ならできるのにな」と
既習内容と関連付けたりすることができます。 教師の問いかけ「どうしたらいいですか？」

☆教師が安易にめあてや関連する既習内容を与えてしまわないようにしましょう。

課題②「児童が意味や根拠を考えること」

方策

- 意味や根拠を考えられるようにするためには
どうしてそのように考えたのかを問うことにより、数学的な見方・考え方を顕在化することが大切です。
また、本当かどうかを問うことで、児童が根拠を説明しようとする場が設けられます。

- 全員が説明できるようにするためには
ペアや小グループで説明し合うとき、説明するだけでなく、質問し合うことが大切です。

☆教師が説明ばかりすると、児童が思考・判断・表現する場がなくなります。あえて問い返しましょう。

算数科における「令和7年度の重点」

目指す子供の姿

- 数量や図形に関する基礎的・基本的な知識及び技能を確実に身に付けている。
- 筋道立てて考え、具体物、図、言葉、数、式、表、グラフなどを用いて事象や問題解決の過程を簡潔・明瞭・的確に表現したり、統合的・発展的に考察したりしている。
- 算数の楽しさやよさを実感し、算数で学んだことを生活や学習に活用しようとしている。

67

算数科における「令和7年度の重点」

目指す子供を育成するための教師が取り組む具体的な実践内容

①学習評価を充実させ、学びの質を高める

◇本時だけでなく、単元を通してどのような資質・能力を育成するのかを把握する。『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料小学校算数』をもとに、評価規準の設定や単元計画の作成を行い、評価問題を工夫する等、児童の学びの質を高める。

②児童の学びのプロセスを重視し、児童が意味や根拠を説明できるようにする

◇児童が新しい問題に出合ったとき、自ら既習内容を振り返り、関連する内容を糸口として問題解決できるように、教師は「どうすればよいですか」等を問い、児童が既習内容と関連付けられるようにする。

◇児童が意味や根拠を考え、説明できるように、教師は説明ばかりするのではなく、意見が出たあと「～さんは、なぜそのように考えたのかな」とあえて全体に問いかけることで、数学的な見方・考え方を顕在化させ、完成した図や式でなく問題解決の過程を共有できるようにする。また、児童のつまづきを事前に想定し、図による可視化等、解消できる方策をもつようにする。

◇児童が統合的・発展的に考察することができるように、振り返りにおいて、既習内容との共通点から一つのものとして捉え直したり、考察の範囲を広げて新たな問題を見いだしたりする場を確保する。

③学級全体で児童が学び合うことを価値付ける

◇児童が「自分だけ分かればよいのではなく、学級の全員が分かること」を目指し、協働的に学ぶことができるように、具体物、図、言葉、数、式、表、グラフ等数学的な表現を目的に応じて柔軟に用いる場を確保する。ICTは、「デジタルの力でリアルな学びを支える」という考えに立ち、資質・能力の育成のために積極的に活用する。

68

各校で実践していただきたいこと①

○自校の児童の実態把握

- ・ ステップアップテスト・全国学力調査、そして普段の授業における子供の姿を把握する。
→適切な支援&授業改善へ
→継続的な取り組みを行い、PDCAサイクルを回す

○調査問題&全国調査の解説書・報告書・授業アイデア例&「学習ガイド」の活用

- ・ 授業づくりの材料にする。
→授業展開（子供の話し合いや表現、教師の発問等）を想定できる
- ・ 子供の学びを拡充する。

69

県学力向上関係資料

徳島県立総合教育センター
Tokushima Prefectural General Education Center

センター概要 > お知らせ 所長あいさつ 事業概要 沿革 コンセプト

各課等のページ > 教職員支援 学校支援 生涯学習 教職員研修講座 教育相談 特別支援 教育の情報化

ホーム
教職員支援・学校支援 >
県学力向上関係
カリキュラム・カフェ >
カリキュラムサポートセンター
教科等の指導に役立つ情報 >
国際交流行事支援

教職員支援・学校支援

教職員支援・

県学力向上関係資料
学力向上に関する資料を掲載しています。閲覧及びダウンロードができます。

県学力向上関係資料

メニュー

- 県学力向上関係資料
GIGA・とくしま学び通信 >
- 学力向上推進員研修会 >
- 学習ガイド関係資料 >
- 徳島県学力向上確認プリント >
- 学力ステップアップテスト >
- 授業づくり研修会 >
- 指導と評価に関する参考文献 録音動画
- 教員のための授業の手引き >
- 授業改善関係資料
- 義務教育課 学力向上資料 >

★ 県学力向上関係資料 ★

- 学力向上推進員研修会
◆令和6年度
◆令和5年度
◆令和4年度
- 指導と評価に関する参考資料 解説動画
- 教員のための授業の手引き
◆学級経営はしめの一歩
◆とくしま 授業技術の基礎・基本
- 授業改善関係資料
◆各教科等の重点
◆徳島版読解力
◆国語力向上タスクフォースの提案
- 義務教育課 学力向上資料
- 徳島県学力向上確認プリント
◆小学校：4年 5年 6年
◆中学校：1年 2年
- 学習ガイド関係資料
◆小学校：国語 算数 理科 外国語
◆中学校：国語 数学 理科 英語
- 授業づくり研修会
◆令和6年度
◆令和5年度
◆令和4年度

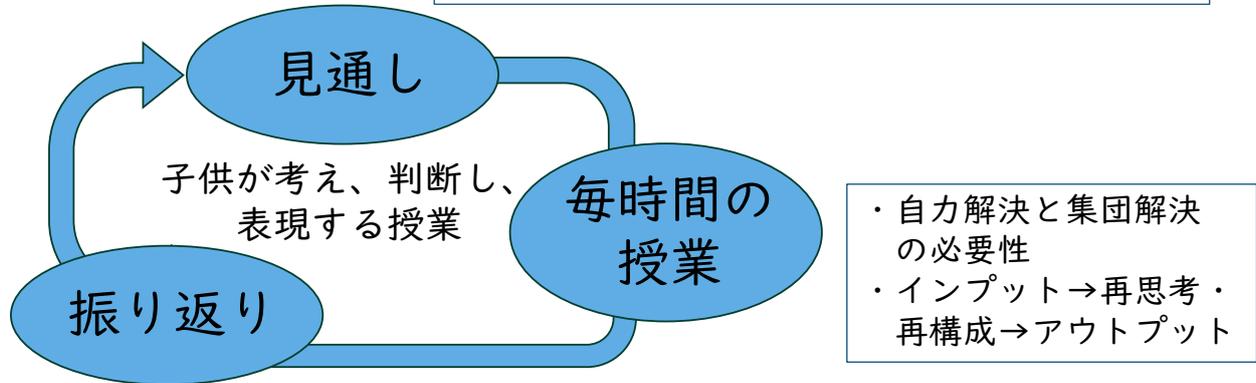
○「学習ガイド」等、ダウンロード可能

70

各校で実践していただきたいこと②

○単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した授業づくり

「何を学ぶのか」「なぜ学ぶのか」「どのように学ぶのか」を、子供が理解することが大切



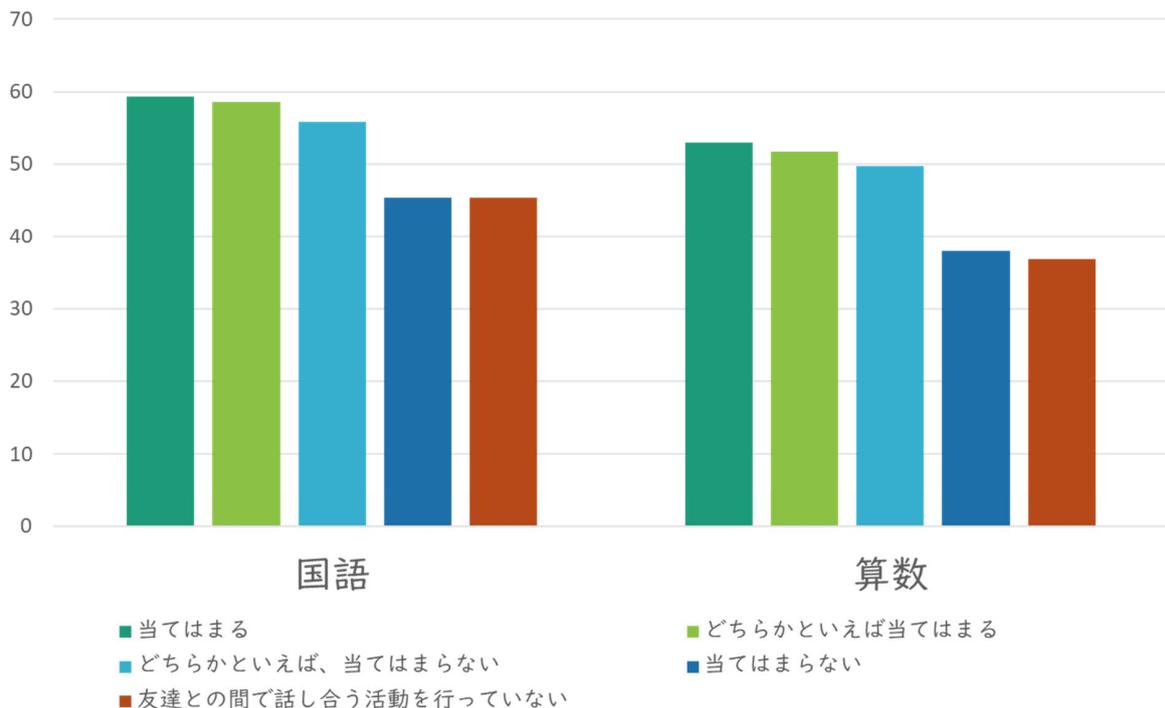
学びの自覚化

「何が分かったのか」などの学習結果、「どんな考え方が役立ったのか」など学習の過程を振り返る場面を設定する

71

ステップアップテスト質問紙から

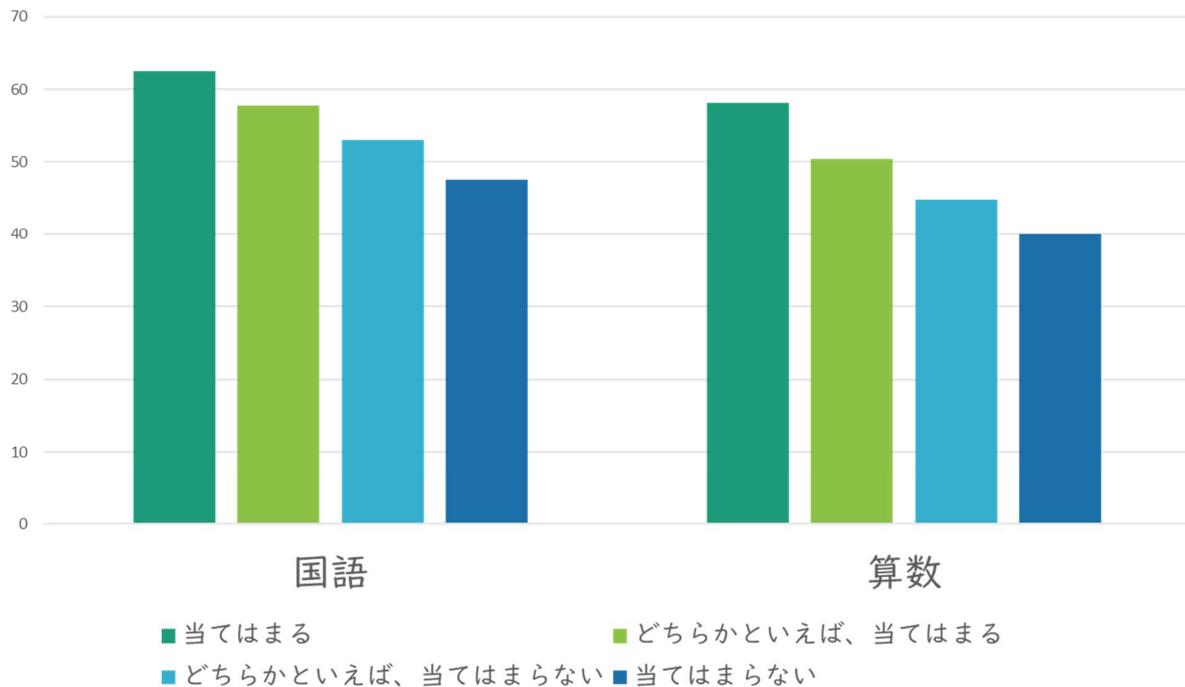
(10) 友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。



72

ステップアップテスト質問紙から

(11) 学習した内容について、分かった点やよく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。



73

各校で実践していただきたいこと③

○「教える授業」



「子供が考え、判断し、表現する授業へ」

・ 学び方を学び、持続可能な学力向上へ

74

すべての教育活動を通して
すべての教師で
授業改善と学力向上に
取り組んでいきましょう！